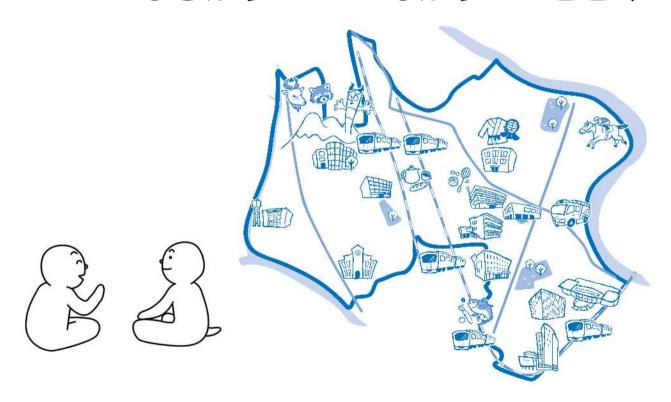




第7期幸区地域福祉計画(案) 概要版

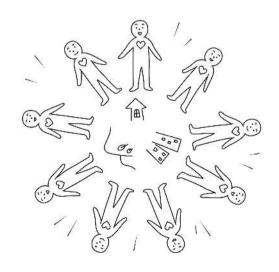
~夢が**ひろがり**、想いが**つながり**、心がとどくまちさいわい~



地域福祉計画

「地域福祉」とは、住み慣れた地域社会の中で、家族、知人などとの社会関係を保ち、自らの能力を最大限発揮し、誰もが自分らしく、誇りを持って、家族及び地域の一員として、日常生活を送ることができるようにすることで、決して特別なことではありません。

地域福祉計画は、自助、互助、共助、公助の様々な取組を 進める計画として、地域福祉を進める理念や仕組みをまとめ たもので、3年に1回つくっています。



第7期幸区地域福祉計画 目次

★は、この資料で紹介している部分です。

1 わがまちを知る

幸区のプロフィール

★統計データから見る幸区 幸区をもっと細かく見てみる(地区の概況)

2 地域の福祉を調べる

- ★第6回川崎市地域福祉実態調査結果 第6期幸区地域福祉計画を振り返る
- ★第7期幸区地域福祉計画推進の視点

3 わがまちの将来を描く

- ★計画の期間、計画の構成、計画の体系図
- ★ 基本目標、基本方針、基本施策、事業・取組幸区社会福祉協議会との連携

市計画概要

計画策定の趣旨・期間 令和7(2025)年以降を見据えためざす姿 第7期計画期間における施策の方向性 第7期計画の実施状況の点検・見直し

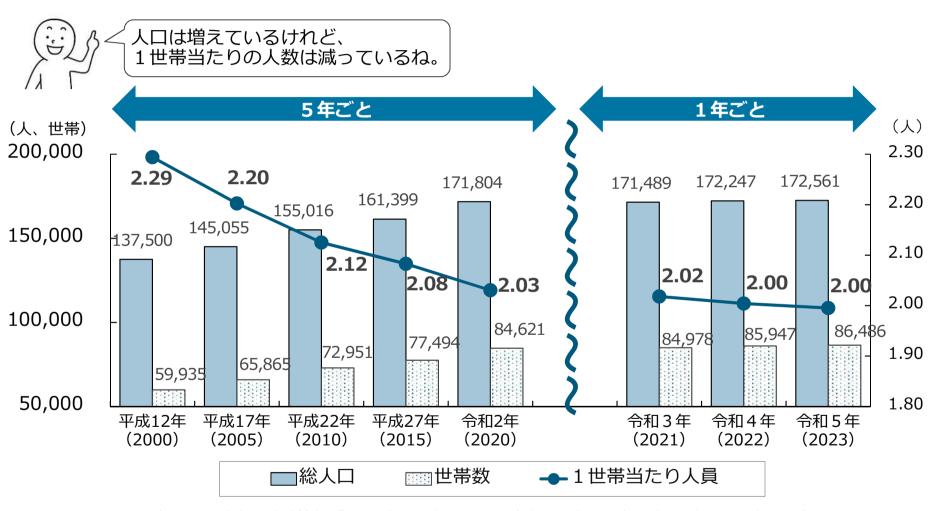
資料編

各事業・取組及び担当課一覧 第7期幸区地域福祉計画の策定経過 各種要綱



わがまちを知る(幸区の総人口と世帯数の推移)

人口・世帯数は増加傾向、1世帯あたりの人員は減少傾向

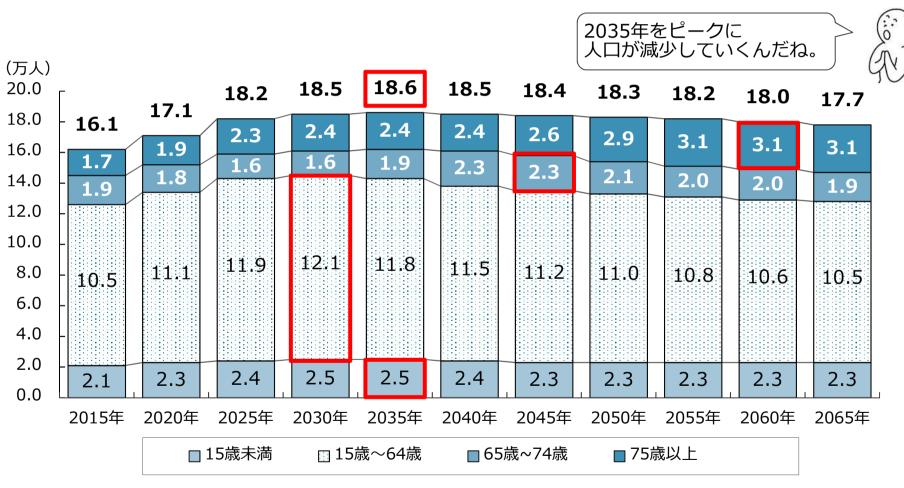


資料:川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」(各年9月末日現在、令和5年は3月末日現在)



わがまちを知る(幸区の年齢区分別将来人口推計)

総人口は2035年にピーク、75歳以上人口が大幅に増加

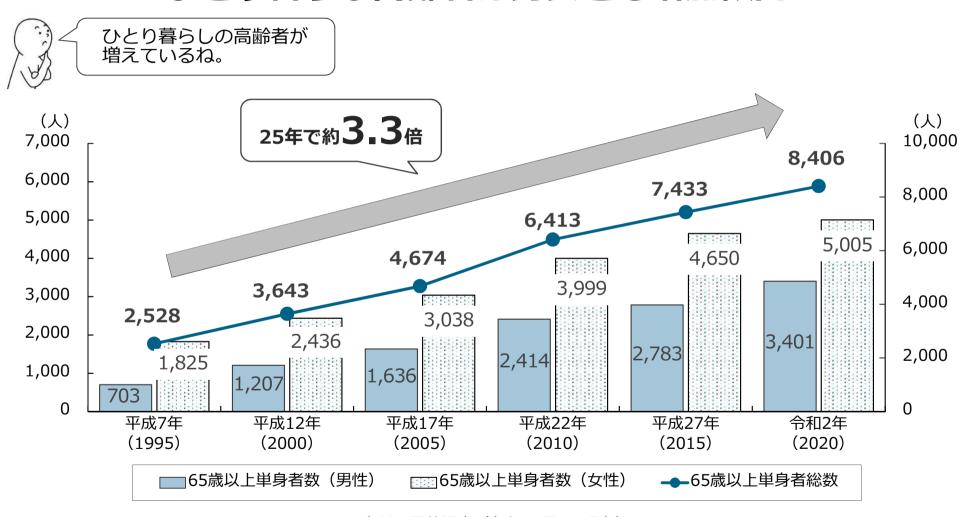


資料:川崎市総務企画局「川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計(更新版)」 (令和4年2月)



わがまちを知る(幸区のひとり暮らし高齢者数の推移)

ひとり暮らし高齢者は男女とも増加傾向

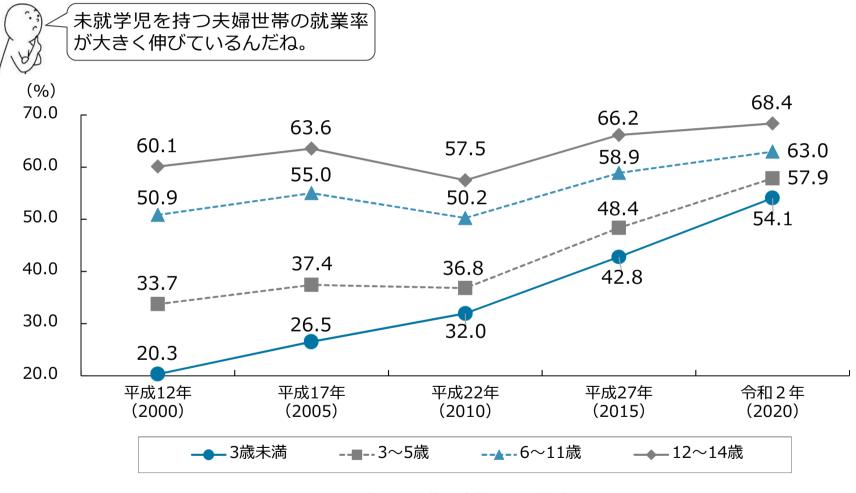


資料:国勢調査(各年10月1日現在)



わがまちを知る(幸区の最年少の子どもの年齢別、夫妻ともに就業している世帯の割合)

未就学児がいる世帯の夫妻ともに就業している率が上昇

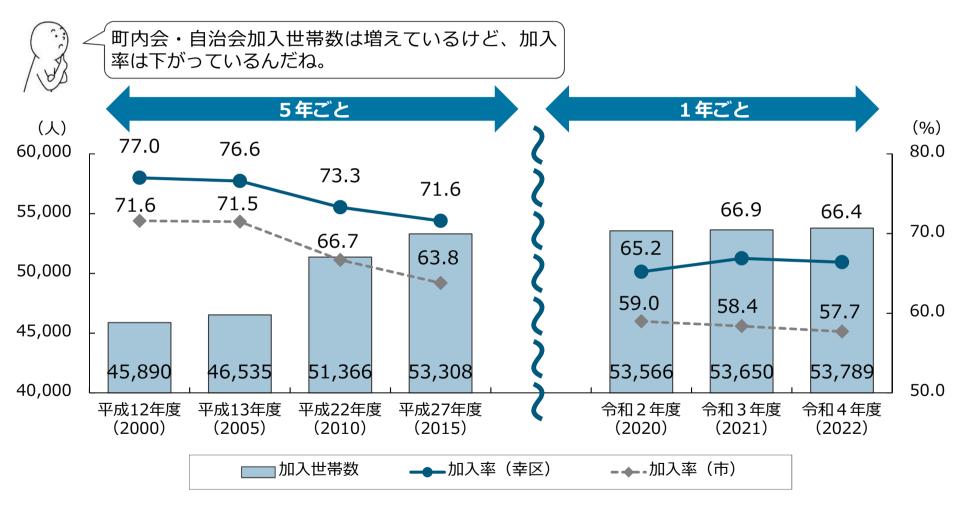


資料:国勢調査結果から作成

1

わがまちを知る(幸区内の町内会・自治会加入状況の推移)

町内会・自治会加入率は市を上回るものの、低下傾向



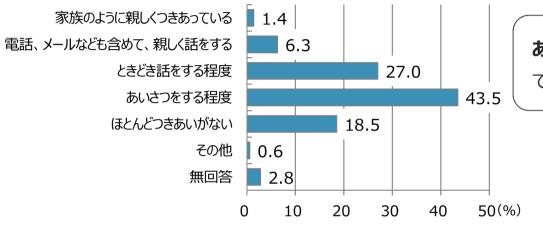
資料:川崎市統計書「住民組織加入状況」(各年度4月1日現在)

2

地域の福祉を調べる (地域のこと)

資料:第6回川崎市地域福祉実態調査から幸区分を抽出して作成

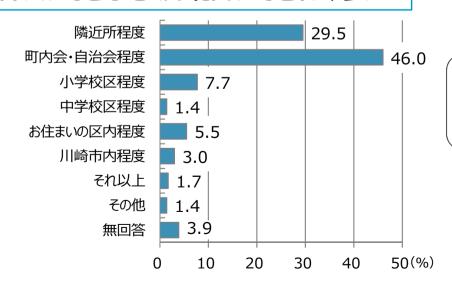
Q ご近所の方とは、普段どの程度のお付き合い?



あいさつをする程度、ときどき話をする程度 で約7割いるね。



Q 助け合いができる地域の範囲ってどれくらい?



隣近所や町内会・自治会程度

の範囲が多いんだね!

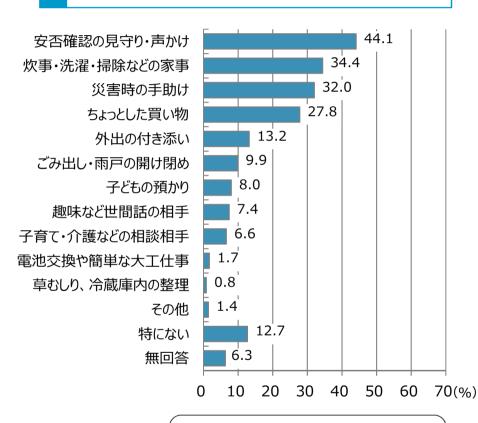




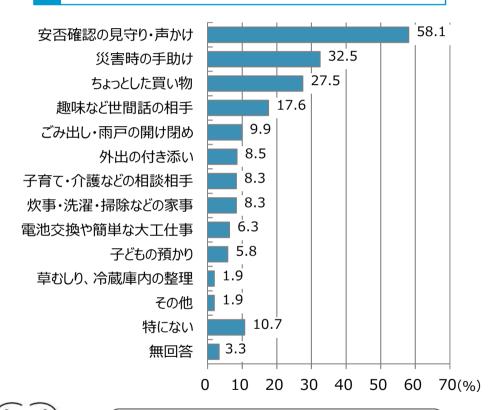
地域の福祉を調べる(いつまでも安心して暮らすために)

資料:第6回川崎市地域福祉実態調査から幸区分を抽出して作成

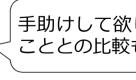
Q どんな手助けを地域の人に求めたい?



Q 自分ができることってどんなこと?



見守り・声かけや、 災害時の手助けは多いね!



手助けして欲しいことと自分ができる こととの比較も興味深いね!



地域の福祉を調べる(第7期幸区地域福祉計画推進の視点)

第6期幸区地域福祉計画の策定

基本目標1

一人ひとりに 【**ひろがる**】

基本目標2

地域で 【**つながる**】

基本目標3

必要な時に【とどく】

基本目標4

【すすめる】



統計データ・調査結果・第6期計画の振り返り

第7期計画策定に向けた課題

- ①<u>地域包括ケアシステム構築に向けた意識を広げ</u>、健康寿命延伸やボランティアなどによる<u>地域活動の担い手づ</u> **くりの取組を進める**ことで、より多くの人が様々な形で**地域活動に参加する機会を広げる**必要がある。
- ②新型コロナウイルスの影響により休止した活動の再開など各種地域活動を活発にすることで、<u>多様な人や活動</u>がつながり、お互いに地域で見守り支え合うことができる地域づくりを進めていく必要がある。
- ③子どもから高齢者まで、また、本人や家族を含めて、福祉サービスや災害時における<u>個別支援の充実</u>を図るために、**必要な相談や支援が届く体制づくりを充実**させていく必要がある。



第7期計画への反映(基本目標)

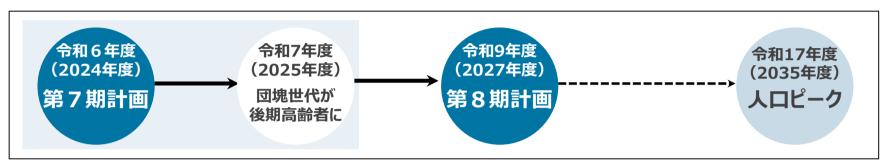
ケアの意識を広げ 参加が広がる地域 地域のつながりから 見守り、支え合う 総合的な体制で相談・支援が届く

地域福祉の充実を推進する体制

関連する取組をさらに充実させるため、第7期計画の基本目標として反映させます。

わがまちの将来を描く(計画の期間)



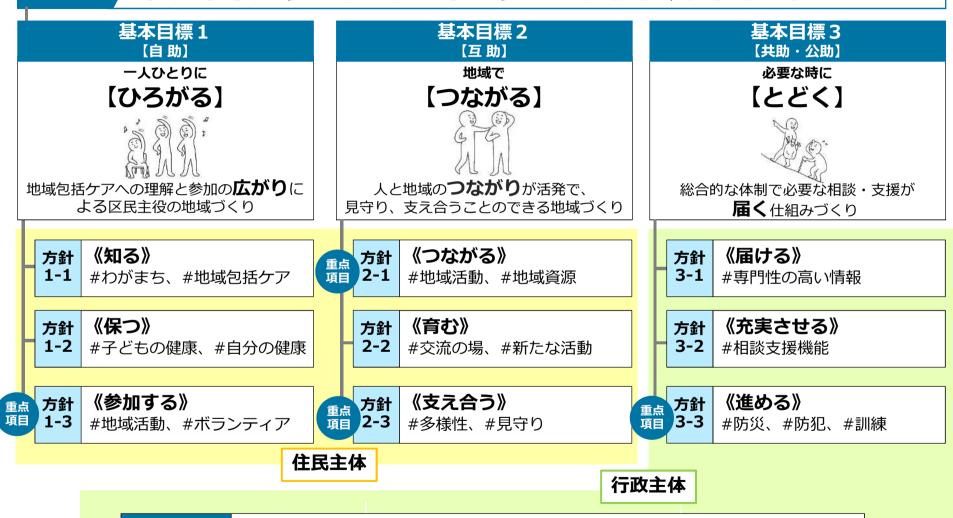


- ●第7期計画は、令和6(2024)年度を初年度として、令和8(2026)年度 を目標年次とする3年計画とします。
- ●また、団塊世代が後期高齢者となり、本市が進める地域包括ケアシステム推進ビジョンの第2段階の最終年度となる令和7(2025)年度を見据えつつ、幸区の人口がピークとなる令和17(2035)年度、さらにはその先の地域像を視野に入れた計画とします。

3

わがまちの将来を描く(計画の体系図)

基本理念 夢がひろがり、想いがつながり、心がとどくまちさいわい



基本目標4

【**すすめる**】 地域福祉を**進める**基盤体制の確立とネットワークづくり

わがまちの将来を描く(基本目標1)

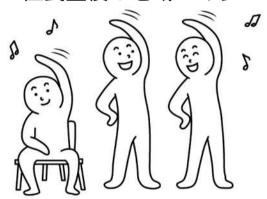


基本目標1

(ひろがる)

一人ひとりに

地域包括ケアへの理解と参加の<u>広がり</u>による 区民主役の地域づくり



目指していくまちの姿

基本目標1では、まずは、このまちに住む一人ひとりからでも行動できることを増やすための事業・取組を位置付けています。

わがまちのことや高齢化が進む中での地域包括ケアの考え方を知り、その人なりのそれぞれの健康づくりに取り組み、地域をより住みよいものにするための地域活動にも参加していくー。これらの活動が活発になっていくことで、一人ひとりが持つ**「自助」**の力を高めていくことを目指していきます。

※自助:自分自身のケア。生きがいづくり、健康づくり、介護予防など。





わがまちの将来を描く(基本目標1)

基本目標1を進める3つの方針と9つの施策

主な取組例

基本方針 1-1

《知る》#わがまち、#地域包括ケア

基本施策 まちを知り、地域包括ケアのことを知る

基本施策 講演・講座に参加して知識を広げる

基本施策 身近な地域での出前講座に参加する

●市政だより幸区版



●子育て家庭向けの講座



基本方針 1-2

《保つ》#子どもの健康、#自分の健康

子どもの健康を保つ 施策

高齢期の健康を保つ 施策

生涯を通じて健康を保つ

●両親学級の開催



●シニアの社会参加支援



基本方針 1-3

《参加する》#地域活動、#ボランティア

基本施策 地域活動に参加する

ボランティアで地域に参加する

将来の担い手につながる活動に参加する

●市民活動交流イベントの開催 ●大学と連携した地域づくり





わがまちの将来を描く(基本目標2)



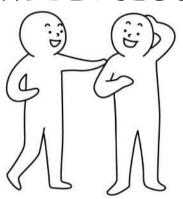
基本目標2

(つながる)



人と地域のつながりが活発で、

見守り、支え合うことのできる地域づくり





目指していくまちの姿

基本目標2では、このまちに住む人と人がつながり、人が場につながることで、まちを活性化していく事業・取組を位置付けています。

多種多様な地域活動と個人がつながり、新たな地域活動が生まれ、まちが元気になっていくこととあわせて、多様な人がともにこのまちに住むことへの理解を深め、互いに見守り、支え合うー。これらの活動が活発になっていくことで、このまちに住む人同士が互いに助け合う「**互助」**の力を高めていくことを目指していきます。

※互助:みんなの支え合い。周りの人同士の助け合い、町内会・自治会の活動、ボランティア活動など。



わがまちの将来を描く(基本目標2)

基本目標2を進める3つの方針と9つの施策

主な取組例

基本方針 **2-1**

《つながる》#地域活動、#地域資源

基本 1 地域の活動を知る

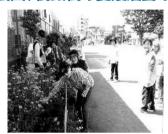
基本 2 幸区の地域資源を活かし、つながりをつくる

基本 **3** 地域に根ざしたイベントからつながりをつくる

●保健福祉情報さいわい



●公園、街路樹の愛護活動の支援



基本方針 **2-2**

《育む》#交流の場、#新たな活動

基本 加 互いの活動を知り活力を生む交流の場を育む

基本 2 人が集い新たな活動を育む

基本 3 新たな地域活動の創出を育む

● ソーシャルデザインセンター (SDC) の運営支援



●提案型協働推進事業



基本方針 **2-3**

《支え合う》#多様性、#見守り

基本 **2** 地域に住む人が見守り・支え合う意識と 施策 **2** 関係をつくる

基本 3 地域の身近な場から見守り・支え合う意識と施策 3 関係をつくる

●パラスポーツ体験会の開催



●地域見守りネットワーク事業





わがまちの将来を描く(基本目標3)



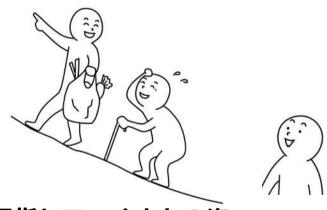
基本目標3 **(とどく)**



必要な時に

総合的な体制で

必要な相談・支援が届く仕組みづくり



目指していくまちの姿

基本目標3では、このまちに住む一人ひとりが必要な時に相談・支援が届くことを目指して 事業・取組を位置付けています。

その人なりのそれぞれの状態に合わせた相談や、地域の中でより暮らしやすくするための支援を受けることのできる地域ー。

様々な関係機関が力を合わせることにより、**「共助」「公助」**による相談・支援の力を 高めていくことを目指していきます。

※共助:介護保険や医療保険などのサービス。デイサービスやヘルパー、診療所での受診など、社会保険制度によるサービス。

※公助:高齢者福祉、障害者福祉、生活保護などの行政による支援。



3-1

わがまちの将来を描く(基本目標3)

基本目標3を進める3つの方針と9つの施策

《届ける》#専門性の高い情報

基本方針

子育で期の専門性の高い情報を的確に届ける 施策

高齢者、障がい者への専門性の高い情報を 基本 施策 的確に届ける

多様な暮らしに対する専門性の高い情報を 基本 的確に届ける 施策

主な取組例

●保育所入所に関する各種 相談·支援



●高齢者、障がい者向けの制度 利用案内





基本方針 《充実させる》#相談支援機能 3-2

子育て期の相談支援機能を充実させる 施策

基本 高齢者、障がい者の相談支援機能を充実させる 施策

基本 3 多様な暮らしに関する相談支援機能を充実させる 施策

●乳幼児特別相談、アレルギー相談



●関係機関との連携による 相談支援の実施



基本方針 《進める》#防災、#防犯、#訓練 3-3

防犯・防災に関する普及啓発 施策

災害時に備えた関係機関との実践的な情報 基本 2 以音呼いの共有 施策

災害時に備えた関係機関との連携と訓練の実施 施策

●ぼうさい出前講座



●避難所開設・運営訓練の実施





わがまちの将来を描く(基本目標4)

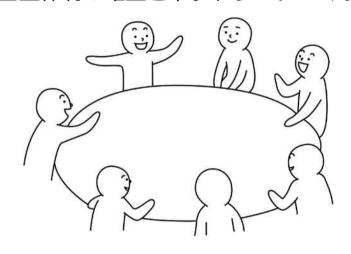


基本目標4

(すすめる)

地域福祉を**進める**

基盤体制の確立とネットワークづくり





目指していく状態像

基本目標4は、基本目標1~3までの取組を支える会議体等を位置付けています。 地域福祉計画の推進に向け、各事業・取組の進行管理や評価を行うとともに、医療・看護・ 介護・福祉などの多職種が一体となった支援を充実させていくために、各種会議等の場を通 じて、良い実践例や課題の共有を行い、さらにより良い取組が新たに生まれていくー。 これらの活動の一つひとつが積み重なっていくことで、さらなる地域福祉の充実を目指して いきます。